

定期作況報告

令和2年7月
(7月20日現在)



北見農業試験場

1. 気象経過

6月下旬：最高気温は平年より極めて低く、最低気温はやや高く、平均気温は低かった。降水量は平年よりやや多く（平年比127%）、日照時間は少なかった（平年比25%）。

7月上旬：最高気温、最低気温、平均気温とも平年よりやや高かった。降水量は平年より少なく（平年比53%）、日照時間は平年並であった（平年比109%）。

7月中旬：最高気温、最低気温、平均気温とも平年よりやや低かった。降水量は平年より少なく（平年比4%）、日照時間は平年並であった（平年比112%）。

以上のことから、この1か月間（6月下旬～7月中旬）は、気温はやや低く、降水量は少なく、日照時間は平年並であった。

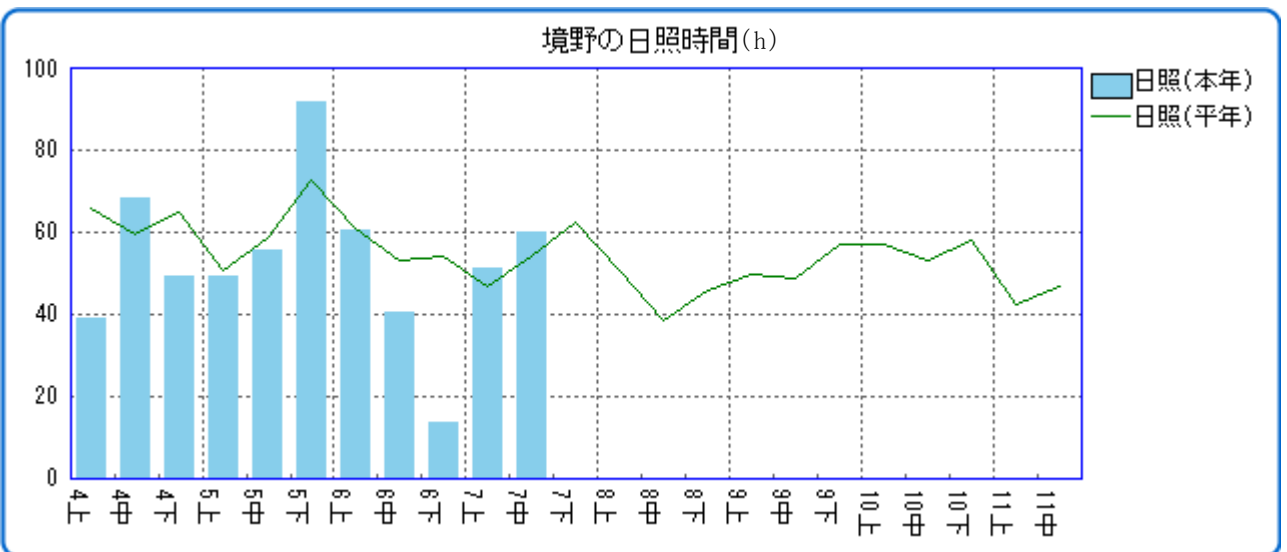
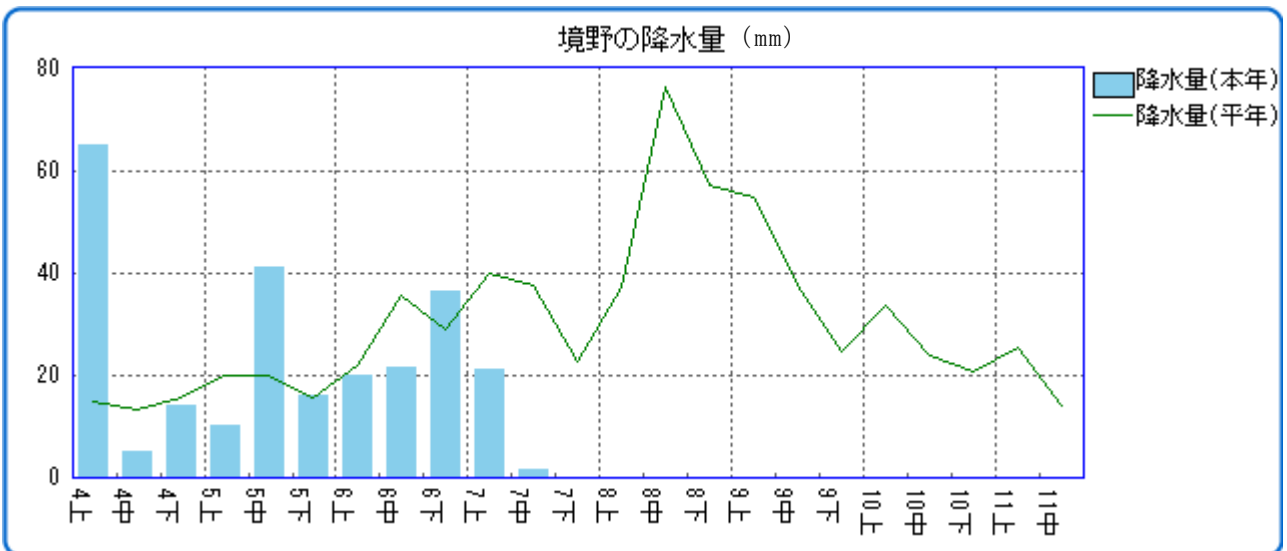
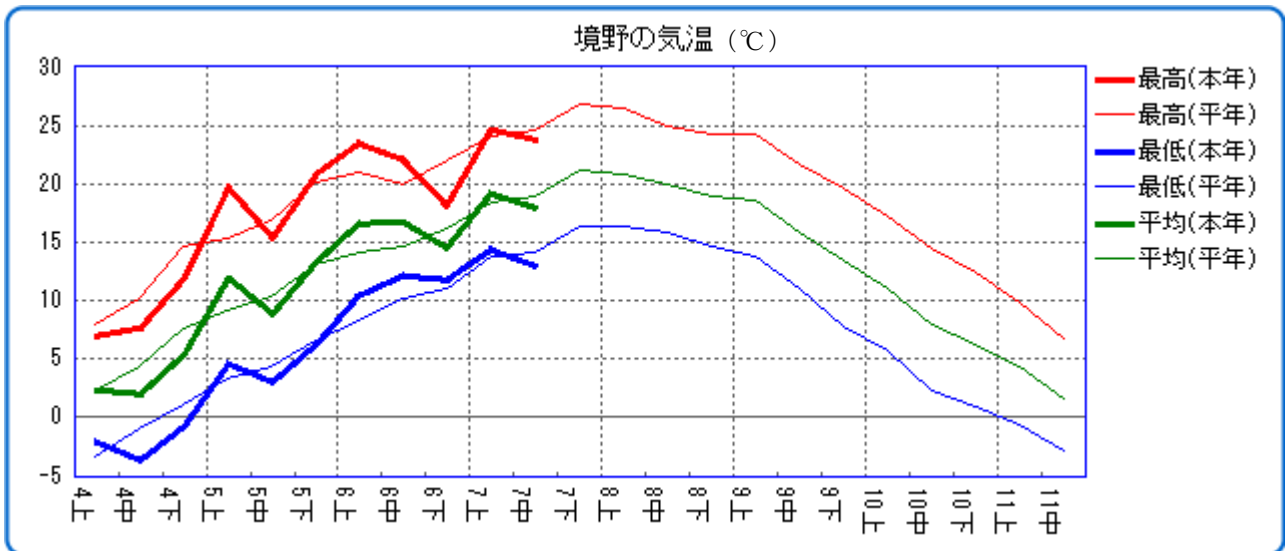
気 象 表

月 旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)		
	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較
6月 下旬	14.6	16.2	-1.6	18.1	22.0	-3.9	11.8	11.1	0.7
7月 月上旬	19.2	18.4	0.8	24.7	24.0	0.7	14.4	13.8	0.6
7月 月中旬	18.0	19.0	-1.0	23.7	24.6	-0.9	13.0	14.2	-1.2

月 旬	降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較
6月 下旬	36.5	28.8	7.7	13.5	54.4	-40.9
7月 月上旬	21.0	39.7	-18.7	51.2	46.8	4.4
7月 月中旬	1.5	37.5	-36.0	60.4	54.1	6.3

注) 観測値は置戸町境野のアメダスデータである。

10年平均は前10か年間の平均値である。



2. 当場の作況

注) 本作況報告は北海道立総合研究機構北見農業試験場の平年値に対する生育良否に基づいたものであり、オホーツク管内全体を代表するものではありません。

1) 秋まき小麦 作 況：やや不良

事 由：登熟に影響する赤かび病、倒伏などの病害および障害は発生していない。稈長は平年よりやや短く、穂長はやや長く、穂数が少ない。

以上のことから、目下の作況は「やや不良」である。

調査項目	きたほなみ		
	本年	平年	比較
稈長(cm) (7月20日)	78	81	△3
穂長(cm) (7月20日)	9.1	8.3	0.8
穂数(本/m ²) (7月20日)	575	730	△155

注) 平年値は前7か年中、平成27年(最豊)、30年(最凶)を除く5か年の平均。

2) 春まき小麦 作 況：平年並

事 由：出穂期は平年より3～4日遅かった。開花後の6月下旬に降水量がやや多かったことから赤かび病の発生が見られる。稈長は平年よりやや長く、穂長は平年並で、穂数は平年よりやや少ない。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	春よ恋			はるきらり		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
出穂期 (月・日)	6.23	6.20	3	6.22	6.18	4
稈長(cm) (7月20日)	100	95	5	95	91	4
穂長(cm) (7月20日)	8.4	8.3	0.1	7.9	7.8	0.1
穂数(本/m ²) (7月20日)	561	644	△83	581	654	△73

注) 平年値は前7か年中、平成27年(最豊)、29年(最凶)を除く5か年の平均。

3) とうもろこし(サイレージ用) 作 況：平年並

事 由：6月下旬の気象が低温寡照傾向であったため、やや徒長気味の生育となっている。7月上

旬以降は好天に恵まれ、草丈は平年より高いが、葉数は平年並である。
 以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	チベリウス		
	本年	平年	比較
草丈(cm) (7月20日)	189.0	169.4	19.6
葉数(枚) (7月20日)	12.8	12.8	0.0

注) 平年値は前7か年中、平成29年(最豊)、30年(最凶)を除く5か年の平均。

4) 大豆 作況：やや良

事由：6月下旬の低温寡照により一時的に生育は停滞したがその後回復し、主茎長、本葉数、分枝数とも平年をやや上回っている。開花始は7月17日で平年より4日早かった。
 以上のことから、目下の作況は「やや良」である。

調査項目	ユキホマレ		
	本年	平年	比較
開花始 (月.日)	7.17	7.21	△4
主茎長(cm) (7月20日)	54.4	50.0	4.4
本葉数(枚) (7月20日)	7.7	7.4	0.3
分枝数(本/株) (7月20日)	5.1	4.6	0.5

注) 平年値は前7か年中、平成26年(最豊)、28年(最凶)を除く5か年の平均。

5) 小豆 作況：良

事由：6月下旬の低温寡照により一時的に生育は停滞したがその後回復し、主茎長と分枝数は平年を大きく上回り、本葉数も平年並から上回っている。開花始は「サホロショウズ」で平年より4日早く、他の品種も同程度早いと推定される。
 以上のことから、目下の作況は「良」である。

調査項目	サホロショウズ			エリモショウズ			きたろまん(参考)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
開花始 (月.日)	7.20	7.24	△4	—	7.26	—	—	7.25	—
主茎長(cm) (7月20日)	22.2	15.6	6.6	22.9	16.2	6.7	23.2	16.4	6.8
本葉数(枚) (7月20日)	6.4	6.3	0.1	7	6.5	0.5	6.7	6.3	0.4
分枝数(本/株) (7月20日)	4.1	1.8	2.3	4.9	1.8	3.1	3.6	1.5	2.1

注) 平年値は前7か年中、平成26年(最豊)、28年(最凶)を除く5か年の平均。
 ただし、きたろまん(参考)は、前6か年(平成26～令和元年)の平均。

6) 菜豆 作 況：平年並

事 由：6月下旬の低温寡照により一時的に生育は停滞したがその後回復した。開花始は7月8日で、平年より1日早かった。草丈は平年を大きく上回り、本葉数はやや少なく、分枝数は平年並である。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	大正金時		
	本年	平年	比較
開花始 (月.日)	7.8	7.9	△1
草丈(cm) (7月20日)	45.6	35.7	9.9
本葉数(枚) (7月20日)	3.5	3.9	△0.4
分枝数(本/株) (7月20日)	5.4	5.4	0.0

注) 平年値は前7か年中、平成26年(最豊)、28年(最凶)を除く5か年の平均。

7) ばれいしょ 作 況：平年並

事 由：開花始は両品種ともに平年並であった。6月下旬の降水量は平年よりやや多く、また日照時間が少なく土壌が湿潤な状態が7月上旬まで続いたことから、茎長は両品種ともに平年を大きく上回っているが徒長気味である。一方、茎数は平年並である。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	男爵薯			コナユタカ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
開花始 (月.日)	6.28	6.28	0	7.3	7.4	△1
茎長(cm) (7月20日)	72	49	23	96	70	26
茎数(本/株) (7月20日)	4.8	4.3	0.5	2.4	3	△0.6

注) 平年値は前7か年中、平成25年(最豊)、30年(最凶)を除く5か年の平均。

8) てんさい

作 況：平年並

事 由：この1か月間は、気温はやや低かったものの日照時間が平年並で、過湿や干ばつなどの障害が無かったことから、全体的に生育は順調に推移した。移植では、7月中旬の少雨の影響で、根重はやや平年を下回ったものの、草丈、生葉数、茎葉重についてはほぼ平年並である。一方、直播では少雨の影響はなく、草丈、茎葉重、根重は平年をやや上回っている。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	移植						直播		
	リッカ			アマホマレ			リッカ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
草丈 (cm) (7月20日)	54.0	53.0	1.0	55.8	52.4	3.4	52.5	46.8	5.7
生葉数 (枚) (7月20日)	19.0	18.1	0.9	20.6	19.9	0.7	16.4	15.4	1.0
茎葉重 (g/個体) (7月20日)	452	494	△42	546	533	13	408	317	91
根重 (g/個体) (7月20日)	220	256	△36	250	269	△19	127	110	17
根周 (cm) (7月20日)	19.9	21.9	△ 2.0	24.3	22.7	1.6	17.2	16.1	1.1

注1) 平年値は前7か年中、平成26年(最豊)、28年(最凶)を除く5か年の平均。

9) 牧 草 (チモシー)

作 況：やや不良

事 由：6月下旬は冷涼で降水量がやや多かったため、再生が促進され、2番草再生時の草丈は平年並まで回復した。しかし1番草の乾物収量が平年比91%とやや少なかったため(前報)、目下の作況は「やや不良」である。

調査項目	なつちから		
	本年	平年	比較
被度 (%) 2番草再生時(7/13)	100	100	0
草丈 (cm) 2番草再生時(7/13)	38	38	0

注) 平年値は前7か年中、平成28年(最豊)、令和元年(最凶)を除く5か年の平均。